

## ご旅行条件（要約）

### ● 募集型企画旅行契約

この旅行は(株)ユーラスツアーズ（以下「当社」）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」）を締結することになります。また旅行条件は下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終旅行日程表と称する確定書面および当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

### ● 旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2015年2月20日を基準としています。また、この旅行代金は2015年2月20日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、または、2015年2月20日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

### ● 旅行契約の解除

最少催行人数に達しなかった場合、旅行を中止することがあります。この場合は、出発の23日前（ピーク時は33日前）までにお知らせします。

### ● 取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、下記の金額を取消料として申し受けます（お一人様）。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って40日目にあたる日以降～31日目【ピーク時】 4/27～5/6,7/20～8/31,12/20～1/7に開始する旅行	旅行代金の10%
旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

※オプション・ツアー代金も上記取消料に準じます。

※査証（ビザ）取得実費代金、渡航手続き料金は、そのまま申し受けます。

## ご旅行要項

### ● 旅行代金に含まれるもの（一部例示）

- ・航空運賃：旅程に表記した区間の個人包括旅行運賃
- ・宿泊料金：2人部屋基準、税・サービス料
- ・食事代：旅程に表記のもの
- ・空港、駅～ホテル間の送迎車料金
- ・添乗員同行の経費（同行と明示した場合）
- ・鉄道運賃（旅程に明示したもの）
- ・旅程に明示した市内（郊外）見学のガイド料、入場料、チップ

### ● 旅行代金に含まれないもの（一部例示）

- ・旅程以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
- ・渡航手続き費用：旅券印紙代（新規に申請される場合）
- ・渡航手続き手数料：出入国記録等書類作成費用、査証（ビザ）取得実費・手数料
- ・超過手荷物料金：規定の重量・大きさ・個数を超える分
- ・個人的費用：電話、電報、FAX、クリーニング代、追加飲食費用
- ・お一人部屋追加料金（相部屋の方がいない場合も同様）
- ・空港施設使用料、航空保険料および保安料
- ・訪問国入国税、燃油特別付加運賃
- ・日本国内の交通費、前泊の費用
- ・任意の海外旅行傷害保険料、オプション・ツアー料金

### ● 時間帯の目安

およそ以下の通りです。航空機、バスなどの移動時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
04:00	06:00	08:00	12:00	17:00	19:00	23:00
						04:00

※当パンフレット掲載の写真はすべてイメージです。

## 中欧 ポーランド の旅



## 戦後70年・アウシュビッツ解放70年

世界遺産 中世のクラクフ & 古都！ワルシャワ

# アウシュビッツと ビルケナウ

oswiecim

石畳がつづく美しい街並みと中世のたたずまいにロマンを感じながら、二度と悲劇を繰り返さない「過去の克服」の姿勢に平和の尊を学ぶ



### 平和・交流をテーマに充実の内容

- じっくりと終日かけてアウシュビッツ強制収容所と引き込み線で有名な絶滅収容所ビルケナウを見学
- アウシュビッツ近くにある国際青年交流センターで、現地の青年たちと交流。

### 素晴らしい歴史と文化も見逃さず

- 大戦による破壊から不死鳥の如く蘇った首都ワルシャワと戦火を免れ城壁に囲まれた古都クラクフの見どころを逃さず見学。嬉しい民族舞踏の鑑賞と自由行動も

6月29日（月）～7月5日（日）7日間  
198,000円～225,000円  
5月29日（金）申込締切

## 申込方法

①下記の「参加予約票」に漏れなくご記入いただき、**旅行社宛にメール、FAX、郵送等にてお送りください。**

※直接お電話あるいはメールにてのお問合せ・お申込み希望のご連絡でも受け付けいたします。

※当社ホームページ（http://www.euras.co.jp）からでも直接「正式申込書」にご記入⇒添付してメール/FAX可。

②「参加予約票」あるいは直接のご連絡後、正式申込書と取引条件説明書、必要書類をお送りいたします。

書類到着後に条件を確認いただき、**申込書をお送りの上で申込金50,000円（旅行費用内金）**を以下の指定口座へ**お振込み**ください。※正式申込書と申込金の到着をもって正式申込となります。

●口座名義：（株）ユーラスツアーズ

・みずほ銀行 神谷町支店 普通口座 口座番号：2375324 / ・郵便振替口座：00120-3-163205

※領収書は、銀行あるいは郵便局が発行する明細書をもって替えさせていただきます。

株式会社ユーラスツアーズ御中

※ご友人・知人の方への案内を希望される場合は、②以降の欄にご記入いただければ、同時に渡航書類をご案内申し上げます。

参加予約票 ポーランド～アウシュビッツとビルケナウ

①		②	
ふりがな	電話	ふりがな	電話
お名前		お名前	
住所		住所	
メール		メール	

●この旅行をお知りになった媒体を以下の項目からお選びください。

ユーラシア協会会員（ ）支部  ユーラシア新聞  ユーラスツアーズのホームページ

ユーラスツアーズからのダイレクトメール  その他（ ）

都学校生活協同組合継続会員  （ ）学校

※□には該当項目に✓印を付けていただき、（ ）内もご記入ください。

旅行企画 日本ユーラシア協会

旅行共催 東京都学校生活協同組合



出発日・旅行代金・諸条件等

旅行期間 2015年 6月29日(月)～7月5日(日) 7日間

旅行費用 (お一人様料金)  
 198,000円 (15名様以上)  
 210,000円 (10名様以上)  
 225,000円 (8名様以上)

一人部屋追加料金 28,900円  
※同室希望者がなく、お一人部屋になった場合も同様に追加料金が必要となります。

実施人数 20名 (最低実施人数：8名)  
※定員になり次第締め切ります。  
 申込締切 5月29日(金)  
 ●15名様以上：添乗員同行  
 ●15名様未満：添乗員なし/現地ガイドご案内

●別途料金(目安)：燃油サーチャージ(39,000円)、成田空港使用料(2,610円)、訪問国諸税等(4,550円) ※航空券発券日のレートによって異なります。

■日程表

日次	都市	スケジュール	【 宿泊地 / 食事 】
① 6/29 月	東京・成田発	夜(22:00発)：空路+エミレーツ航空でアラブ首長国連邦のドバイへ	【 機中泊 / 機中食 】
② 6/30 火	ドバイ着 / 発 ワルシャワ着	ドバイ(03:40着-07:25発)で乗り継ぎ手続き～ワルシャワ(11:30)午後： <b>ワルシャワ市内と大戦の破壊より蘇った旧市街の見学①</b> ●市場広場(中世の佇まいが残る旧市街の中心) ●ハルバカン(旧市街の城壁の一角) 【 ワルシャワ泊 / 機中食 】	
③ 7/1 水	ワルシャワ	午前： <b>ワルシャワ市内と大戦の破壊より蘇った旧市街の見学②</b> ●ワルシャワ蜂起記念碑とゲッター記念碑 ●フジェンキ公園(世界で最も有名なシヨパン像のある市民憩いの場) 午後：自由行動 旧市街地区の散策やお買い物などをお楽しみください。 夕刻： <b>ポーランド民族舞踏とディナー</b> 【 ワルシャワ泊 / 機中食 】	
④ 7/2 木	ワルシャワ発 クラクフ着  クラクフ	朝：陸路、列車でポーランド第2の都市、城壁に囲まれた古都クラクフへ(11:26着 約3時間/2等席 ※昼食は列車内でお済ませください) 着後：城壁に囲まれた <b>世界遺産文化の古都クラクフ市内見学</b> ●バベル城(街のシンボル・外観まで) ●ヤゲウオ大学(コペルニクスも学んだ欧州最古の大学) ●市場広場(石畳や中世を思わせる街の中心) ●映画「シンドラーのリスト」の舞台カジミエシュ地区と工場跡地の博物館 夕刻：自由行動＝城壁に囲まれた古都の散策などをお楽しみください。 【 クラクフ泊 / 機中食 】	
⑤ 7/3 金	クラクフ発 オシフィエンチム	陸路、ナチスの爪痕が残るオシフィエンチム市へ(約70キロ) 午前：● <b>アウシュビッツ強制収容所の見学</b> *記録映画(英語)～*門(ARBEIT MACHT FREI)～*収容棟(4号棟～7号棟)→「死の壁」→ガス室→焼却炉 昼：● <b>国際青年交流センターを訪問して現地の人と交流</b> *昼食を共にとりながらの交流・懇談 午後：● <b>ビルケナウ絶滅収容所の見学</b> *見張り棟(入口)～*収容棟～*鉄道の引き込み線～*破壊されたままのガス室と焼却炉 夕刻：陸路、再びクラクフへ 到着後、自由行動・自由食 【 クラクフ泊 / 機中食 】	
⑥ 7/4 土	クラクフ発 ワルシャワ発 ドバイ着	午前：陸路、ワルシャワ空港へ 午後(14:40発)：空路+アラブ首長国連邦のドバイへ 夜(22:20着)ドバイで乗り継ぎ手続き 【 機中泊 / 機中食 】	
⑦ 7/5 日	ドバイ発 東京・成田着	深夜(02:50発)：帰国の途へ 午後(17:35着)：到着後、入国審査・解散 【 / 機中食 】	

●利用予定航空会社：エミレーツ航空、ルフト・ハンザドイツ航空、フィンランド航空、オランダ航空 ●宿泊予定ホテル：クラクフ(マキシミアン、アレキサンダー、アスコット)、ワルシャワ(イビス、グロマダ) 注：日程中のマーク：●印=入場見学、○印=下車見学、○印=車窓見学、机=食事付、自由食、機内食 《朝食4回・昼食1回・夕食2回、機内食別》

旅のおさそい ● 中世の街並み、石畳の旧市街、城壁に囲まれた古都の見学&平和を考える旅

文化的に東西ヨーロッパの架け橋になっている欧州の中央に位置する国・ポーランド。限りない大平原、北方バルト海の美しい海岸、氷河時代に生まれた湖水地方、生命あふれる美しい森、新旧さまざまな山々、さらには広大な砂丘地帯。砂岩の浸食によって創りあげられたヨーロッパ唯一の景観を誇るストウオヴェ山脈国立公園など、手つかずの大自然が残っています。

また、シヨパンやキュリー夫人、コペルニクス、ヨハネ・パウロ2世、アンジェイ・ワイダ監督といった日本でも馴染みのある人物の故郷でもあります。豊かな歴史と伝統をもち、歴史的遺産も数多く残るポーランド。今回は、大戦の戦火より不死鳥の如く蘇った首都ワルシャワと城壁に囲まれた古都クラクフの2都市に2連泊して、中世ヨーロッパの息吹を感じながら歴史と文化にふれる内容です。そして、ナチスの蛮行を後世に伝えるアウシュビッツ強制収容所と鉄道の引き込み線であまりにも有名なビルケナウ絶滅収容所を終日かけて見学しつつ国際青年交流センターを訪れ、交流・懇談する旅です。

一般の観光旅行とはここが違います！

● ただ見学するだけでない充実の内容

- ▶一般の観光旅行ではアウシュビッツは半日の自由見学がほとんど。このツアーでは現地ガイドがしっかりと説明します。
- ▶団体行動中の買い物は組み込みません。見学時間を割いてまで買物するツアーとは異なり、しっかり・じっくり訪問先で時間を使います

見学・宿泊地のご案内

市民の手で蘇った **ワルシャワ**

Warsaw / Poland

中央ヨーロッパの交通・政治・経済の中心であり、緑豊かなポーランドの首都。また電気・鉄鋼・自動車産業などの工業都市であり、かつワルシャワ大学をはじめとする高等教育機関が集中し、歌劇場やワルシャワ国立フィル管弦楽団を擁する文化都市でもある。第二次世界大戦による破壊から市民の手によって「煉瓦のヒビ」まで修復され、不死鳥の如く蘇った旧市街地区はユネスコ世界文化遺産に登録されるほど美しい街。



城壁の古都 **クラクフ**

Krakow / Poland

第二次大戦の戦火を免れた城壁に囲まれた世界遺産の古都。南部に位置するポーランド第二の都市であり、最も歴史ある都市の1つ。17世紀初頭にワルシャワに遷都するまでポーランド王国の首都として栄え、14世紀に最盛期を迎える。その頃ヨーロッパ最古のヤゲウオ大学が設立され、かのコペルニクスも学んだことで知られている。第二次大戦時はナチス・ドイツの占領下におかれ、映画「シンドラーのリスト」の舞台でもある地域にゲッターが設立された。



訪問・見学 ①

● **アウシュビッツ強制収容所** Auschwitz ( Oswiecim )

ナチス・ドイツの強制収容所

1940年クラクフの西60キロのオシフィエンチムに築かれたあまりにも有名なナチスの強制収容所。ソ連軍(連合軍)によって解放されるまで、ユダヤ人をはじめ約110万人以上の人が虐殺された場所。現在は博物館として復元され、ドキュメント映画～入口の門「ARBEIT MACHT FREI」、様々な展示がされている旧「収容棟」、ガス室、焼却炉、銃殺の現場「死の壁」などを展示している。



訪問・見学 ②

● **ビルケナウ絶滅収容所** Birkenau ( Oswiecim )

アウシュビッツの第二収容所と呼ばれた絶滅収容所

アウシュビッツの第2収容所として建設される。アウシュビッツから2キロほど離れた広大な敷地(面積175平方キロ)に300棟以上のバラックが並び、アウシュビッツより更なる大規模な大殺戮工場。鉄道の引き込み線が、まっすぐに敷地内へ伸び、線路が尽きるほどの所に破壊されたガス室、焼却炉の跡がある。現在は、その他では見張り棟、引き込み線、バラック(1棟のみ)が残っている。



訪問・見学 ③

● **国際青年交流センター** International Youth Meeting Center

「歴史を知り、理解することがより良い未来を創る」という趣旨で設立

ドイツの団体ARSP(平和のための和解奉仕活動)とオシフィエンチム市によって1986年に建設。ワルシャワ条約締結後、1970年に西ドイツとポーランド両国政府間での国際青年交流の構想が生まれる。現在は多くの国から若者が「アウシュビッツ」という難しい遺産について論じ合ったり、独自のプログラムを作り活動している。

